



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 さくらインターネット株式会社

上場取引所 東

コード番号 3778 URL <https://www.sakura.ad.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (氏名) 田中 邦裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 川田 正貴

TEL 06-6476-8790

四半期報告書提出予定日 2024年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,658	4.1	448	35.4	319	48.1	304	27.2
2023年3月期第3四半期	15,043	2.9	694	58.1	615	74.4	417	438.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 381百万円 (8.0%) 2023年3月期第3四半期 414百万円 (413.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	8.52	
2023年3月期第3四半期	11.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,802	8,934	28.4
2023年3月期	26,256	8,486	31.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,756百万円 2023年3月期 8,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		3.50	3.50
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	10.6	1,450	32.7	1,300	34.6	850	27.5	23.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年7月7日に譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行いました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、この影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	37,620,700 株	2023年3月期	37,620,700 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,911,815 株	2023年3月期	1,958,144 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	35,692,543 株	2023年3月期3Q	36,560,511 株

当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている今後の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算説明資料は2024年1月31日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気の緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります状況となっております。

当社グループの属するクラウド・インターネットインフラ市場は、デジタルトランスフォーメーションが進むなか、すべての企業で第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術）の利用が加速し、企業ITインフラのクラウドへの移行の本格化が予想されており、当社グループの属する市場は、国産パブリッククラウドへの期待も高まっているなかで、今後も拡大が継続すると見込んでおります。

こうした状況のもと、当社グループはシステムインテグレーションから開発、インターネットインフラサービスの提供、保守、運用、お客様サポート等をグループ内においてワンストップで提供することで、お客様の「やりたいこと」の実現を支援することを目指しております。現在の48万を超える顧客と新たな顧客にとってのカスタマーサクセスの実現に注力することで、今後も高い市場成長が見込まれるクラウドサービスの拡大に注力しております。

売上高につきましては、クラウドサービス売上が順調に増加したこと等により、15,658,998千円（前年同期比4.1%増）となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加がありましたが、クラウドサービスの機能開発強化の一層の加速や販売促進に向けた人材採用・マーケティング強化等の積極的な実施により、448,584千円（前年同期比35.4%減）となりました。

経常利益につきましては、営業利益の減少などにより、319,732千円（前年同期比48.1%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上がありましたが、経常利益の減少などにより、304,004千円（前年同期比27.2%減）となりました。

サービスカテゴリー別の売上状況は以下のとおりです。

① クラウドサービス

さくらのクラウド、さくらのVPSの売上が順調に推移したこと等から、クラウドサービスの売上高は9,453,030千円（前年同期比7.7%増）となりました。

② 物理基盤サービス

他サービスへの移行や解約等により、物理基盤サービスの売上高は2,689,609千円（前年同期比2.1%減）となりました。

③ その他サービス

グループ会社売上の減少等により、その他サービスの売上高は3,516,358千円（前年同期比0.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,546,293千円増加し、30,802,403千円(前連結会計年度末比17.3%増)となりました。主な要因は、GPUクラウドサービス等向けのサービス機材調達による有形固定資産の増加等によるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ4,097,872千円増加し、21,867,843千円(前連結会計年度末比23.1%増)となりました。主な要因は、サービス機材に係る設備関係未払金の増加等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ448,421千円増加し、8,934,560千円(前連結会計年度末比5.3%増)となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、株式会社ABEJAの新規上場に伴い保有株式の一部を売却して投資有価証券売却益を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益が想定を上回って進捗しておりますが、売上高、営業利益、経常利益は概ね当初予想の範囲で進捗しております。

通期連結業績予想につきましては、売上高は高い成長目標の中、第4四半期からのGPUクラウドサービス売上の発生により期末に向けて概ね予想通りに推移する見込みですが、引き続き来期以降の事業成長に向けた先行投資を検討しているため、2023年4月27日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した通期連結業績予想を据え置きとしております。

なお、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,810,628	5,246,571
受取手形、売掛金及び契約資産	2,392,419	2,488,324
商品及び製品	13,384	15,917
貯蔵品	526,641	612,152
その他	1,201,459	1,601,945
貸倒引当金	△13,545	△14,856
流動資産合計	8,930,987	9,950,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,899,139	6,531,279
工具、器具及び備品（純額）	1,981,395	4,665,479
リース資産（純額）	5,176,950	6,076,458
その他（純額）	658,617	671,079
有形固定資産合計	14,716,102	17,944,296
無形固定資産		
その他	508,025	491,910
無形固定資産合計	508,025	491,910
投資その他の資産		
その他	2,106,718	2,421,685
貸倒引当金	△5,724	△5,544
投資その他の資産合計	2,100,994	2,416,141
固定資産合計	17,325,122	20,852,348
資産合計	26,256,109	30,802,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	917,034	627,437
短期借入金	320,000	481,667
1年内返済予定の長期借入金	813,183	813,554
未払法人税等	230,986	42,276
前受金	4,864,278	4,646,630
賞与引当金	390,795	228,645
役員賞与引当金	6,750	—
その他	2,297,485	6,917,089
流動負債合計	9,840,514	13,757,299
固定負債		
長期借入金	2,662,253	2,116,540
リース債務	4,537,003	5,246,639
資産除去債務	680,274	682,420
株式給付引当金	28,666	51,741
その他	21,258	13,201
固定負債合計	7,929,456	8,110,543
負債合計	17,769,970	21,867,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,256,921	2,256,921
資本剰余金	1,378,747	1,481,332
利益剰余金	5,847,035	6,025,262
自己株式	△1,145,475	△1,118,373
株主資本合計	8,337,228	8,645,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,632	101,993
為替換算調整勘定	7,024	9,634
繰延ヘッジ損益	△175	7
その他の包括利益累計額合計	11,482	111,635
非支配株主持分	137,428	177,782
純資産合計	8,486,139	8,934,560
負債純資産合計	26,256,109	30,802,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	15,043,950	15,658,998
売上原価	11,222,525	11,633,851
売上総利益	3,821,425	4,025,146
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,761	1,574
給料及び手当	1,044,526	1,186,845
賞与引当金繰入額	88,785	96,041
その他	1,992,322	2,292,100
販売費及び一般管理費合計	3,127,396	3,576,562
営業利益	694,028	448,584
営業外収益		
受取利息	24	31
持分法による投資利益	4,654	—
貸倒引当金戻入額	998	444
業務受託料	10,545	9,773
暗号資産売却益	8,759	—
受取出向料	15,889	13,531
その他	27,970	23,654
営業外収益合計	68,842	47,436
営業外費用		
支払利息	116,243	128,380
持分法による投資損失	—	7,041
その他	31,034	40,866
営業外費用合計	147,277	176,288
経常利益	615,593	319,732
特別利益		
固定資産売却益	3,759	5,868
投資有価証券売却益	—	61,318
特別利益合計	3,759	67,186
特別損失		
固定資産除却損	4,152	1,349
リース解約損	1,314	114
特別損失合計	5,466	1,463
税金等調整前四半期純利益	613,886	385,454
法人税、住民税及び事業税	104,947	124,028
法人税等調整額	99,532	△20,106
法人税等合計	204,479	103,921
四半期純利益	409,406	281,533
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,235	△22,471
親会社株主に帰属する四半期純利益	417,641	304,004

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	409,406	281,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	91,105
繰延ヘッジ損益	△1,315	182
為替換算調整勘定	2,639	2,609
持分法適用会社に対する持分相当額	4,114	6,255
その他の包括利益合計	5,462	100,153
四半期包括利益	414,868	381,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,104	404,158
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,235	△22,471

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入れ)

当社は、2023年11月21日開催の取締役会に基づき、GPU クラウドサービス用の機材投資資金について、2024年1月12日付で、下記のとおりシンジケーション方式のコミット型タームローンの契約を締結しております。なお、2024年1月31日に1,600,000千円の借入れを実行しております。

1. 契約の概要

- ① 組成金額 8,000,000千円
- ② 契約形態 コミット型シンジケートローン
- ③ 契約締結日 2024年1月12日
- ④ コミットメント期間 2024年1月17日～ 2024年12月30日
- ⑤ 満期日 2026年12月30日
- ⑥ 適用金利 基準金利 + スプレッド
- ⑦ 担保・保証 無
- ⑧ アレンジャー兼エージェント 株式会社三井住友銀行
- ⑨ コ・アレンジャー 株式会社みずほ銀行
- ⑩ 参加金融機関 株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行、株式会社京都銀行

⑪ 財務維持条件

1. 2024年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2023年3月期末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、又は直近の事業年度末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
2. 2024年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結の損益計算書に記載される営業損益を2期連続して損失としないこと。

2. 借入れの理由

2023年6月16日に公表した「経済産業省による「クラウドプログラム」供給確保計画の認定に関するお知らせ」及び2023年8月21日に公表した「GPU クラウドサービスへの追加投資に関するお知らせ」に記載のGPU クラウドサービス用機材等にかかる投資資金について、シンジケーション方式のコミット型タームローン契約を締結するものであります。

(重要な設備投資)

当社は、2024年1月31日開催の取締役会において、石狩データセンターへの追加投資を行うことを決議しました。

1. 設備投資の目的

当社は、経済産業省による「クラウドプログラム」供給確保計画の認定に伴うGPUクラウドサービス提供のための石狩データセンター4号棟予定地へのコンテナ型データセンターの設置、及び既存サービスの持続的成長を実現するための3号棟Aゾーンの増床を決議いたしました。なお、資金調達についてはコンテナ型データセンターは金融機関からの借入れ、石狩データセンター3号棟Aゾーンは金融機関からの借入れまたはリースを予定しております。

2. 設備投資の内容

(1) 石狩データセンターコンテナ型データセンター

- ① 所在地 北海道石狩市
- ② 用途 地盤改良・基礎工事、コンテナ型データセンター等
- ③ 投資予定額 2,350,000千円

(2) 石狩データセンター3号棟Aゾーン

- ① 所在地 北海道石狩市
- ② 用途 サーバルーム内装、電気設備、空調設備等
- ③ 投資予定額 2,500,000千円

3. 設備の導入時期

(1) 石狩データセンターコンテナ型データセンター

- ① 着工時期 2024年6月以降(予定)
- ② 竣工時期 2024年10月以降(予定)

(2) 石狩データセンター3号棟Aゾーン

- ① 着工時期 2024年9月(予定)
- ② 竣工時期 2025年4月(予定)

4. 当該設備が営業・生産活動等に及ぼす重要な影響

2024年3月期の連結業績に重要な影響はありません。

(子会社の増資)

当社は、2024年1月31日開催の取締役会において、非連結子会社である株式会社Tellusの募集株式について、2024年4月1日を払込期日として当社が引き受けること(600,000千円の増資引受)を決議いたしました。

1. 増資の目的

当社は、「やりたいこと」を「できる」に変える、という企業理念のもと、衛星データを利用した新たなビジネスマーケットの創出を目的として、日本発の衛星データプラットフォーム「Tellus」を開発・運用しております。

2024年4月より政府衛星データ関連案件の履行やスターダストプログラム(日本政府による宇宙開発利用加速化戦略プログラム)に基づく活動が本格スタートする予定であるなか、これらを株式会社Tellusにて実施するため、当社の事業の一部を吸収分割させるとと

もに本増資を行うものであります。

2. 対象会社の概要(増資前)

- ① 商号：株式会社Tellus
- ② 所在地：東京都新宿区西新宿七丁目20番1号
- ③ 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 山崎 秀人
- ④ 事業内容：衛星データプラットフォーム事業
- ⑤ 資本金：10,000千円
- ⑥ 設立年月日：2021年12月1日
- ⑦ 決算日：3月31日
- ⑧ 大株主及び持株比率：さくらインターネット株式会社 100%

3. 増資の内容

- ① 募集株式の数：普通株式60,000株
- ② 募集株式の払込金額：1株につき金10,000円
- ③ 払込期日：2024年4月1日
- ④ 増資引受人：さくらインターネット株式会社60,000株
- ⑤ 増資引受後の持株比率：100%

(重要な連結範囲の変更)

「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象)(子会社の増資)」に記載のとおり、当社は、2024年1月31日開催の取締役会において、非連結子会社である株式会社Tellusの募集株式について、2024年4月1日を払込期日として当社が引き受けること(600,000千円の増資引受)を決議いたしました。これにより、従来、重要性が乏しいために連結範囲に含めていなかった株式会社Tellusは、重要性が増す見込みであるため、翌連結会計年度の第1四半期連結会計期間より連結範囲に含める予定です。